



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
平成30年7月20日号

<学校教育目標>
<教育スローガン>

自立と貢献~夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成~
「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思いやり」



1学期を終了しました！ 安全で有意義な夏休みを過ごしましょう！

酷暑が続く中、子どもたちは、元気に70日間（1年生69日間）の1学期を終えました。7月5日からの西日本一帯を中心とした豪雨では、綾部市内に大きな災害をもたらし、また、この吉美地区においても山崩れや浸水など、被害が出ました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、1学期は、教育スローガン「笑顔・元気・夢いっぱい そして思いやり」を目指し、特に「あいさつ」「そうじ」「くつ・かさそろえ」を具体的な目標として取り組みました。終業式では、1学期間に子どもたちが特に頑張った姿を次の3点について話しました。

1つには、この「当たり前前」の「ことを当たり前にする」ことを一人一人が意識できたことです。立ち止まって挨拶する姿、昇降口のくつや傘が毎日整頓されている様子。毎日続けるとそれが習慣になり、その習慣を続けると人格につながることを改めて伝えました。

2つには、6年生を中心として異年齢の活動が大切にされていたことです。異年齢の班で読み聞かせをしたり、掃除をしたりと高学年が低学年に思いやりの気持ちをもって優しく接している姿が何回も見られました。これらのことは、社会で様々な人たちと共に生きていくための大事な「つながる力」です。

3つには、小学生陸上競技大会をはじめ、二王門登山レースなどの様々な行事や大会、コンクールにチャレンジした子が多くいたことです。一人一人が得意なことを見つけ、それぞれの個性を輝かせることは、将来に向かって伸びていくために必要な力です。子どもたちが、全力で頑張る姿をたくさん見せてくれました。

さて、明日から39日間の長い夏休みが始まります。子どもたちが安全に気を付けて、楽しい夏休みが過ごせることを願っています。また、夏休みにしかできない体験や得意なこと・好きなことに熱中したりチャレンジしたりできる時間を是非持って欲しいと思います。

保護者の皆様には、夏休み中も個人懇談やラジオ体操、プール当番、吉美小元気まつり、美化作業など、暑い中何かとお世話になりますがよろしくお願いいたします。地域の皆様にも、ラジオ体操への参加や児童の見守り等、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。2学期の始業式には、子どもたちが元気に登校してくれることを楽しみにしています。

校長 龜井 貴子

教育かもめ に取り組みました

郵便局様と地元の有志の皆様によるご協力で始まった「教育かもめ」。市内の小学校に暑中見舞いはがきが届けられました。本校ではこの機会に日頃お世話になっている方々に暑中見舞いを出そうと全校で取り組みました。特に3年生は国語科の教材でもありましたので、綾部郵便局様にお世話になり、出前授業を受けました。葉書の由来の「タラヨウ」の葉に字を書くことと文字がくっつき浮かび、子どもたちも大喜びでした。本当にありがとうございました。



子ども110番の家の確認 お世話になりました

新潟での事件や大雨での雨宿りについて協議したことをきっかけに始まった子ども110番の家の確認でしたが、応援団の皆様、自治会長様、町区委員様のご協力により、1学期中に確認ができました。昨日は担当教師が子どもたちと110番の家を確認しながら挨拶をかねて下校指導をしました。確認作業をお世話になりました皆様に心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。